

平成25年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立花高小学校



所在地 佐世保市花高三丁目4番1号
校長 大淵 正信
児童数 727名
学級数 24学級

=めざす児童像=
考える子
やさしい子
元気な子



米作り体験 ～田植え～（5年生）



花高の自然を見つけよう～小森川～（3年生）

1 目的

- 児童の発達段階に応じた様々な学習活動を通して、環境の大切さを学ぶと共に、学校が一人一人にとって楽しい学びの場となることで、学校教育目標である「考える子 元気な子」の具現化を目指す。
- 活気と潤いのある学校環境を整備するために、学級園等において学年に応じた草花や作物の栽培を推進する。また、地域の方との交流・福祉活動を通して児童の情操を高め、「命」を大切に作る心を育てることにより学校教育目標である「やさしい子」の具現化を目指す。
- 校内研究テーマである「自ら学び、伸びを実感する子の育成 ～算数科の学習指導法の工夫を通して～」を推進していくために、昨年に続き「教えて考えさせる授業」の一層の推進を図ったり、家庭学習の習慣化を図るために家庭に啓発したりといった手立てを講じることにより「考える子」の具現化を目指す。

2 実践内容

対象 学年	時期	活動 場所	活 動 内 容
1年	7月 12月	中庭 体育館	<p>【シャボン玉遊びをしよう】</p>  <p>保幼小連携事業の第1回目の活動として一緒にシャボン玉を飛ばして遊んだ。いろいろな大きさのシャボン玉ができ、とても驚いた。吹き方を教えたり道具を貸してあげたり、1年生は園児との交流で年長として満足感を感じることができた。</p> <p>【昔遊びをしよう】</p> <p>1年生は事前に親子で遊んだり練習したことで、とても自主的な活動ができた。お互いを思いやり一緒に楽しんで大変有意義な活動だった。</p>
2年	5月 ～ 11月	学 年 園	<p>【ぐんぐんのびろ】</p> <p>生活科で、野菜を育てる学習に取り組んだ。5月に畑を耕し、夏野菜（キュウリ、ナス、ピーマン）の苗を植え、水やり、草取り、支柱立てなどの世話をを行った。大きく成長し、7月から次々と収穫ができた。夏野菜の栽培を生かして、冬も白菜やブロッコリーの栽培に取り組むことができた。</p>  <p>子どもたちは、この活動を実践することによって、五感を使って成長の様子を観察することができた。また、家庭で食べた野菜についても話題に出るようになった。1株の苗から次々と実ができる様子を見て驚き、生命力の強さを感じ、いのちを大切にしようという気持ちが高まった。また、野菜に対する関心が高まり、野菜嫌いだった子が野菜を食べられるようになるなど、食育の面でも役に立った。</p>

学年	時期	活動場所	活 動 内 容
3年	7月 9月	小 森 川	<p>【花高の自然を見つけよう～小森川～】</p>  <p>ゲストティーチャーの肥後さんのご指導のもと、小森川に生息する生物の名前や種類などを調べたり、水質検査をしたりした。自分たちが採った生物を観察したり指標と比べたりしながら意欲的に活動することができた。小森川の自然について調べることを通して、自然環境について考え、自分たちの生活をふり返る良い機会となった。</p> <p>子どもたちは自然環境を守る大切さを感じ、自分たちのふるさとに流れる小森川を大切にしようと呼び合うことができた。</p>
	12月 ～ 2月	運 動 場	<p>【お年寄りと交流しよう】</p> <p>地域の人との交流を図るために、地域で活動されている花高グラウンドゴルフクラブの方々をお迎えし、グラウンドゴルフを楽しんだ。グラウンドゴルフのやり方を教えていただきながら、楽しく活動できた。グラウンドゴルフの技術はもちろん、お年寄りとの会話の中で、学ぶことの多い貴重な体験となった。</p> 
4年	1月 ～ 3月	花 壇	<p>【環境について考えよう】</p> <p>「学校を花いっぱいにしてよう」という計画を立て、花壇にノースポールやチューリップなど花の苗を植えた。栽培活動を通して植物を大切にしていこうという気持ちをもつことができた。春には花いっぱいにしてようと呼びかけや草取りを続けていた。</p>
	1月	校 内	<p>【福祉について考えよう】</p> <p>社会福祉協議会の方にアイマスクの使い方や介助の仕方を教えていただきながら体験学習を実施した。体験を通して、体が不自由な人の気持ちや生活の中の問題点を見つけることができた。この体験で学習したことを生かして、自ら課題を見つけ調べる学習を行いながら、身近な生活のバリアに気づき、自分たちにできることの計画を立てることができた。</p>

学年	時期	活動 場所	活 動 内 容
5年	5月 ～ 10月	校 田	<p>【米作り体験学習】</p> <p>1 5月下旬 <田起こし> <ul style="list-style-type: none"> • 耕運機を利用して、2回田起こしを行った。 (5月の下旬と6月の月上旬) </p> <p>2 6月上旬 <水入れ> <代かき> <ul style="list-style-type: none"> • 1学級ごとに田に素足で入り、田の土をこねた。最後の学級は木の板でならし、代かきを行った。 </p> <p>3 6月26日(月) <田植え> <ul style="list-style-type: none"> • 全学級の子どもが集まり田植えの指導をゲストティーチャー小川さんより受けた後、1人当たり3～5株の苗を植えることができた。 </p> <p>4 7月～10月 <ul style="list-style-type: none"> • 除草作業や害鳥対策を実施した。稲の花の観察。ネットや薬剤の散布を行った。 (薬剤は小川さんにいただいた。) </p> <p>5 10月22日(水) <稲刈り> <ul style="list-style-type: none"> • 稲刈りの方法について小川さんより指導を受け、のこ鎌を利用し1株ずつ刈り取った。 </p> <p>○ 収穫したもみは全部で9kgあり、おにぎりにして食べた。自分たちで育てたお米は、特別なおいしさだった。食べ物大切さについて一層学習を深めることができた。</p>  
6年	7月 ～ 3月	学 校 ・ 学 年 園	<p>【花いっぱい为学校にしよう】</p> <p>7月に学校の花である「あじさい」の剪定を行った。保護者の方の協力のもと剪定鋏を使って安全に配慮しておこなった。1月からは、1人1鉢ずつの花をお世話しながら育て上げる活動を行ってきた。3月の卒業証書授与式では自分たちが育てた花が、会場やその周辺を彩り、自分たちの活動のまとめとすることができるであろう。このように愛校心を育てる活動として、有意義なものであると考えている。</p>
全 学 年	年 間	教 室	<p>【学力検査<算数>・下敷きの活用】</p> <p>確かな学力の定着を図るための基礎資料として、5月に算数の学力テストをおこなった。その結果を基に、校内研修「自ら学び、伸びを実感する子の育成、教えて考えさせる授業」を、深めていくことができた。また、家庭学習の手引きを印刷した下敷きを使用することによって、常に家庭学習を意識させることにより学習習慣の定着を図ることができた。また、下敷き裏面の学習の心構えや発表の仕方を活用して、授業に望む心構えや、相手を意識した話し方や聞き方ができるようになってきた。</p>